

第1 平成18年度の決算状況

1 一般会計

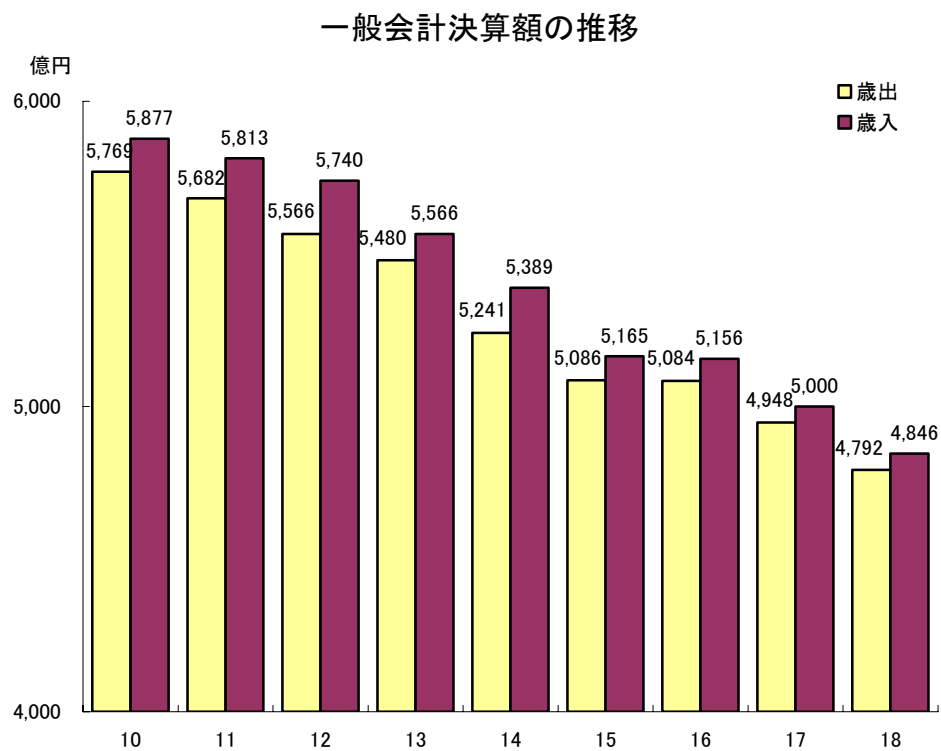
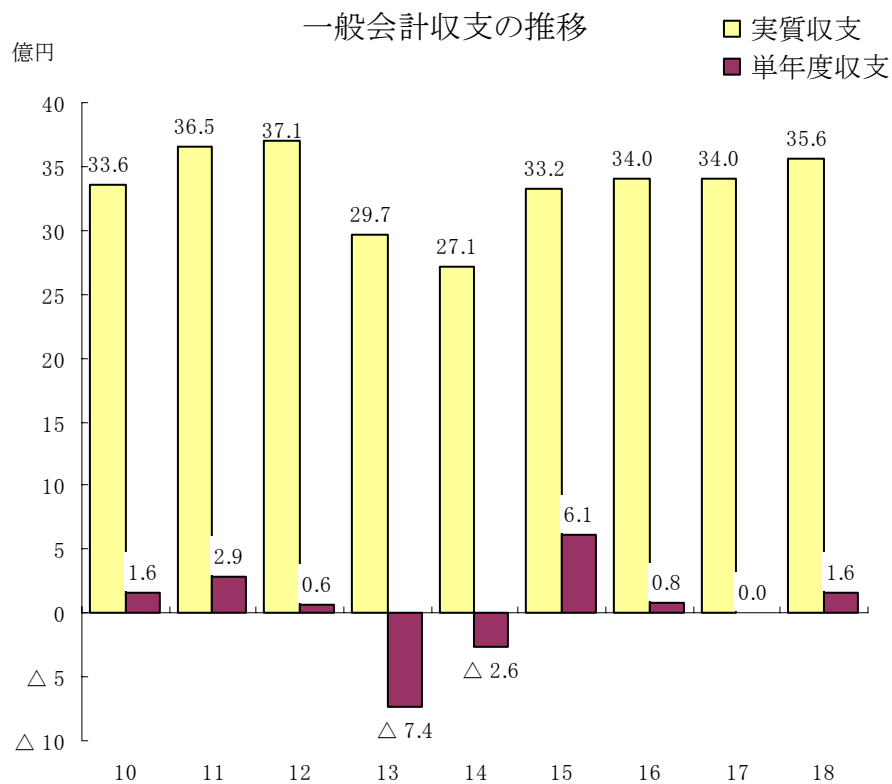
(1) 決算の収支

平成18年度の一般会計決算額は、歳入が4,846億1,977万円、歳出が4,791億7,424万円となり、歳入歳出差引額（形式収支）は、54億4,553万円となっています。また、この形式収支の中には、平成18年度へ事業を繰り越したため、翌年度の使用予定財源となる18億8,523万円が含まれていますので、これを差し引いた収支（実質収支）は35億6,030万円の黒字となっています。

平成18年度一般会計決算の状況

（単位 千円・％）

区 分		平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	比較	
				(A)-(B) (C)	伸率(C)/(B)×100
歳入決算額	a	484,619,765	500,026,747	△ 15,406,982	△ 3.1
歳出決算額	b	479,174,244	494,789,514	△ 15,615,270	△ 3.2
形式収支(a-b)	c	5,445,521	5,237,233	208,288	4.0
翌年度へ繰り越すべき財源	d	1,885,228	1,840,214	45,014	2.4
実質収支(c-d)	e	3,560,293	3,397,019	163,274	4.8
単年度収支	f	163,274	1,943	161,331	8,303.2
積立金	g	20,771	5,143	15,628	303.9
起債繰上償還額	h				
積立金取崩し額	i				
実質単年度収支(f+g+h-i)	j	184,045	7,086	176,959	2,497.3



(2) 歳入の状況

歳入の決算額は、4,846 億 1,977 万円であり、前年度に比べ、154 億 0,698 万円（対前年度比 3.1 パーセントの減）減少しました。

歳入の主な内訳は、地方交付税 1,239 億 4,981 万円（対前年度比 2.3 パーセント減）、県税 1,040 億 5,190 万円（対前年度比 7.3 パーセント増）、国庫支出金 852 億 1,165 万円（対前年度比 17.4 パーセント減）、県債 739 億 2,500 万円（対前年度比 5.0 パーセント減）、諸収入 313 億 5,825 万円（対前年度比 7.6 パーセント減）となっています。

平成8年度 一般会計歳入決算の状況

(単位 千円・%)

年度 区別		平成8年度				平成7年度		比較	
		予算現額 (A)	決算額 (B)	(B)/(A)×100	構成比	決算額 (C)	構成比	(B)-(C) (D)	伸率(D)/(C)×100
一般財源	1 県税	102,500,345	104,051,897	101.5	21.5	97,017,313	19.4	7,034,584	7.3
	2 地方消費税清算金	16,544,519	16,544,519	100.0	3.4	16,264,285	3.2	280,234	1.7
	3 地方譲与税	16,332,547	16,332,547	100.0	3.4	6,669,248	1.3	9,663,299	144.9
	4 地方特例交付金	305,862	305,862	100.0	0.1	5,095,197	1.0	△4,789,335	△94.0
	5 地方交付税	123,949,811	123,949,811	100.0	25.5	126,881,107	25.4	△2,931,296	△2.3
	6 交通安全対策特別交付金	362,509	362,509	100.0	0.1	343,045	0.1	19,464	5.7
小計(1～6)		259,995,593	261,547,145	100.6	54.0	252,270,195	50.4	9,276,950	3.7
特定財源	7 分担金および負担金	6,234,128	5,509,049	88.4	1.1	5,932,201	1.2	△423,152	△7.1
	8 使用料および手数料	6,821,577	6,870,097	100.7	1.4	7,316,973	1.5	△446,876	△6.1
	9 国庫支出金	103,128,498	85,211,654	82.6	17.6	103,135,837	20.6	△17,924,183	△17.4
	10 財産収入	1,519,985	1,535,326	101.0	0.3	1,082,997	0.2	452,329	41.8
	11 寄附金	897,857	898,989	100.1	0.2	869,576	0.2	29,413	3.4
	12 繰入金	12,750,646	12,527,020	98.2	2.6	10,517,821	2.1	2,009,199	19.1
	13 繰越金	5,237,233	5,237,233	100.0	1.1	7,178,503	1.4	△1,941,270	△27.0
	14 諸収入	33,644,414	31,358,252	93.2	6.5	33,927,644	6.8	△2,569,392	△7.6
	15 県債	86,728,000	73,925,000	85.2	15.2	77,795,000	15.6	△3,870,000	△5.0
小計(7～15)		256,962,338	223,072,620	86.8	46.0	247,756,552	49.6	△24,683,932	△10.0
歳入合計		516,957,931	484,619,765	93.7	100.0	500,026,747	100.0	△15,406,982	△3.1

予算現額(A)は、最終予算額に前年度からの繰越額を合わせた額である。
表中の繰掛り収支振替

ア 自主財源と依存財源

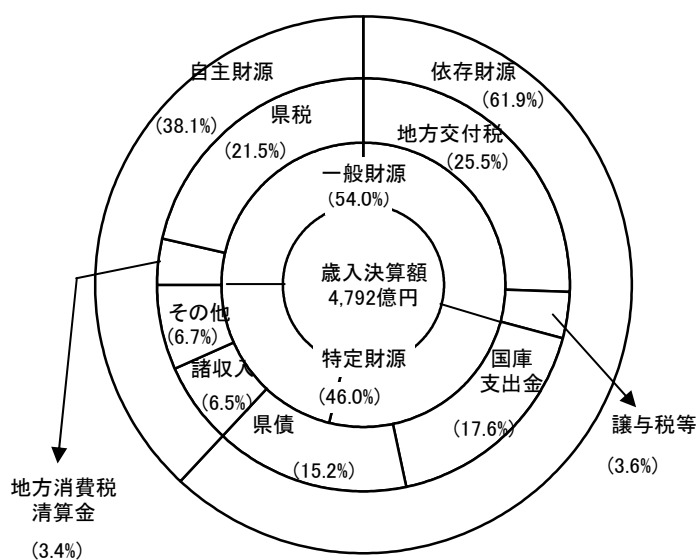
県税、分担金および負担金、使用料および手数料など県が自らの手で確保できる収入である自主財源は 1,845 億 3,239 万円（構成比 38.1 パーセント）であり、これに対して、地方交付税、国庫支出金、県債など国から決められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入である依存財源は 3,000 億 8,738 万円（構成比 61.9 パーセント）となっています。

なお、地方公共団体が自主的な財政運営を進めていくためには、歳入に占める自主財源の割合の-highいことが望ましいところですが、平成18年度は前年度の構成比 36.0 パーセントを 2.1 ポイント上回っています。

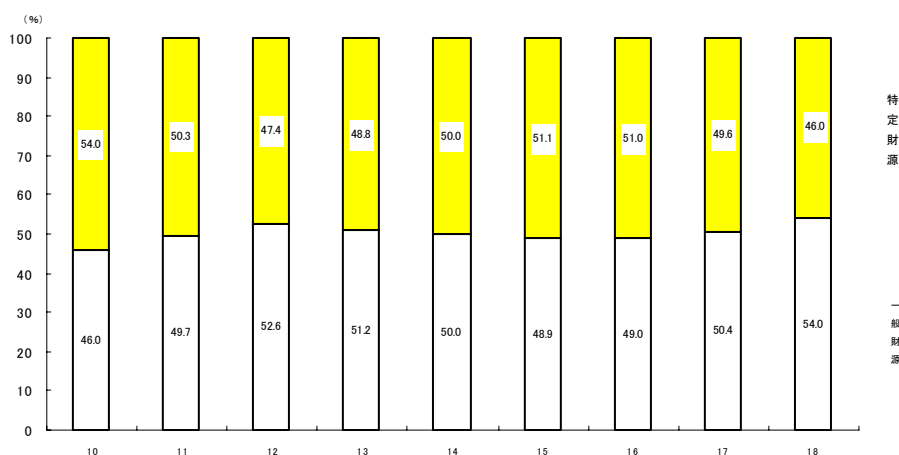
イ 一般財源と特定財源

県税、地方交付税等使途が特定されず、どの経費にも使用できる一般財源は 2,615 億 4,715 万円（構成比 54.0 パーセント）であり、これに対して国庫支出金、県債等使途が限定される特定財源は 2,230 億 7,262 万円（構成比 46.0 パーセント）となっており、これらはそれぞれ前年度に比べ一般財源で 92 億 7,695 万円（対前年度比 3.7 パーセント増）増加し、特定財源で 246 億 8,393 万円（対前年度比 10.0 パーセント減）減少しています。

平成18年度一般会計歳入決算構成比



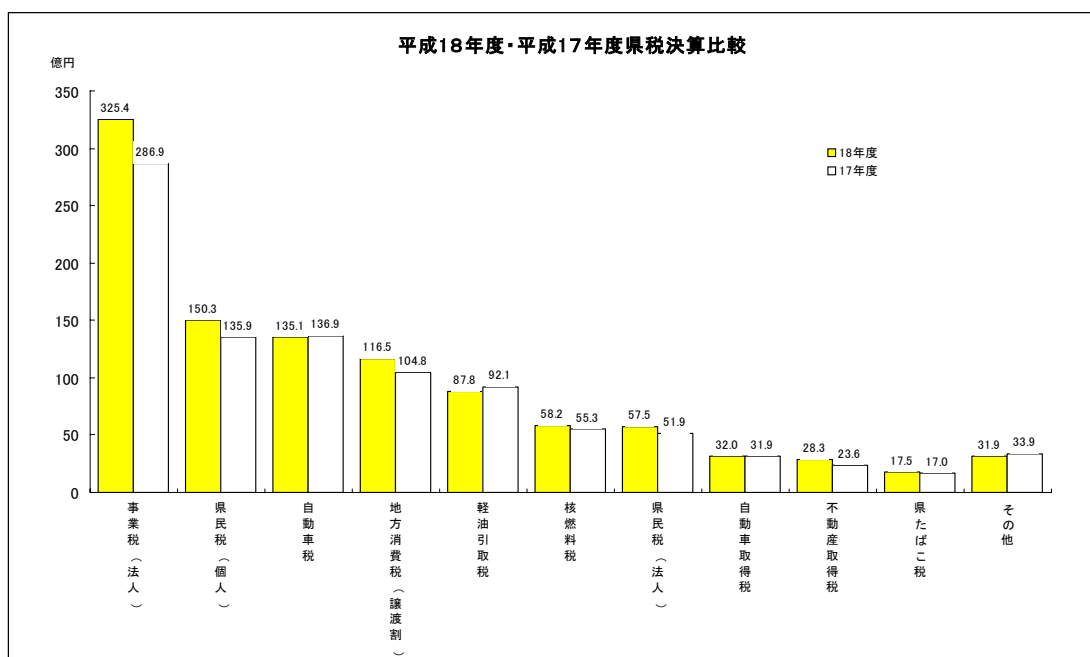
一般会計歳入決算の一般財源・特定財源構成比の推移



ウ 県税収納状況

県税の決算額は、1,040 億 5,190 万円で前年度に比べ 70 億 3,458 万円（前年度比 7.3 パーセント増）増加しました。これは、企業業績好調による法人事業税、県民税等の増加によるものです。また、調定額に対する収納決算額である収入率は、92.6 パーセントとなっています。

平成18年度県税収入状況						(単位 千円・%)		
税別	年度 区分	平成18年度				平成17年度		比較
		予算現額 (A)	調定額 (B)	収入決算額 (C)	収入率 (C)/(B)	構成比	決算額 (D)	伸率 $((C)-(D))/(D) \times 100$
1 普通税		90,461,536	99,966,818	92,052,171	92.1	88.5	84,596,889	8.8
(1) 法定普通税		84,637,292	94,142,573	86,227,926	91.6	82.9	79,071,037	9.1
県民税(個人)		14,872,436	16,386,627	15,028,669	91.7	14.5	13,586,198	10.6
〃(法人)		5,583,816	5,790,023	5,753,392	99.4	5.5	5,187,142	10.9
〃(利子割)		867,901	868,748	868,748	100.0	0.8	1,087,768	△ 20.1
事業税(個人)		1,000,824	1,102,249	1,014,112	92.0	1.0	985,919	2.9
〃(法人)		31,574,143	38,335,466	32,538,003	84.9	31.3	28,687,948	13.4
地方消費税(譲渡割)		11,617,818	11,650,543	11,650,543	100.0	11.1	10,484,255	11.1
〃(貨物割)		433,951	447,259	447,258	100.0	0.4	366,120	22.2
不動産取得税		2,664,866	3,052,366	2,826,070	92.6	2.7	2,357,249	19.9
県たばこ税		1,737,379	1,745,298	1,745,298	100.0	1.7	1,702,897	2.5
ゴルフ場利用税		352,956	381,088	381,088	100.0	0.4	374,544	1.7
自動車税		13,468,651	13,919,659	13,512,066	97.1	13.0	13,685,233	△ 1.3
鉦区税		2,537	3,232	2,664	82.4	0.0	2,932	△ 9.1
固定資産税		460,014	460,015	460,015	100.0	0.5	562,832	△ 18.3
(2) 法定外普通税		5,824,244	5,824,245	5,824,245	100.0	5.6	5,525,852	5.4
核燃料税		5,824,244	5,824,245	5,824,245	100.0	5.6	5,525,852	5.4
2 目的税		12,038,721	12,416,954	11,999,617	96.6	11.5	12,420,209	△ 3.4
自動車取得税		3,190,335	3,195,957	3,195,957	100.0	3.1	3,185,030	0.3
軽油引取税		8,821,755	9,194,366	8,777,029	95.5	8.4	9,208,581	△ 4.7
狩猟者税		26,631	26,631	26,631	100.0	0.0	26,598	0.1
3 旧法による税		88	14,430	109	0.8	0.0	215	△ 49.3
合 計		102,500,345	112,398,202	104,051,897	92.6	100.0	97,017,313	7.3



(3) 歳出の状況

歳出の決算額は、4,791 億 7,424 万円であり、前年度に比べ 156 億 1,527 万円（対前年度比 3.2 パーセント減）減少しており、平成 17 年度からの繰越事業分（継続費通次繰越および繰越明許費）を加えた最終予算現額 5,169 億 5,793 万円に対する執行残高は 377 億 8,369 万円となっています。

ア 目的別決算

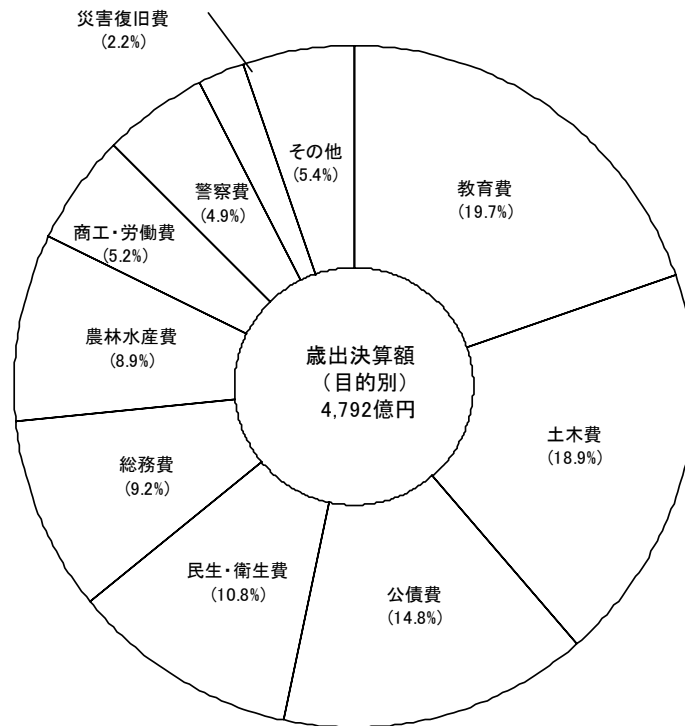
歳出決算額を目的別に分類した構成比は、県立学校の施設整備や教職員の人件費などの教育費が 19.7 パーセント、道路、河川、港湾等の整備を図る土木費が 18.9 パーセント、県債を償還するための元金や利子などの公債費が 14.8 パーセントであり、以下、民生・衛生費、総務費、農林水産費の順となっています。

平成18年度一般会計決算（目的別）の状況

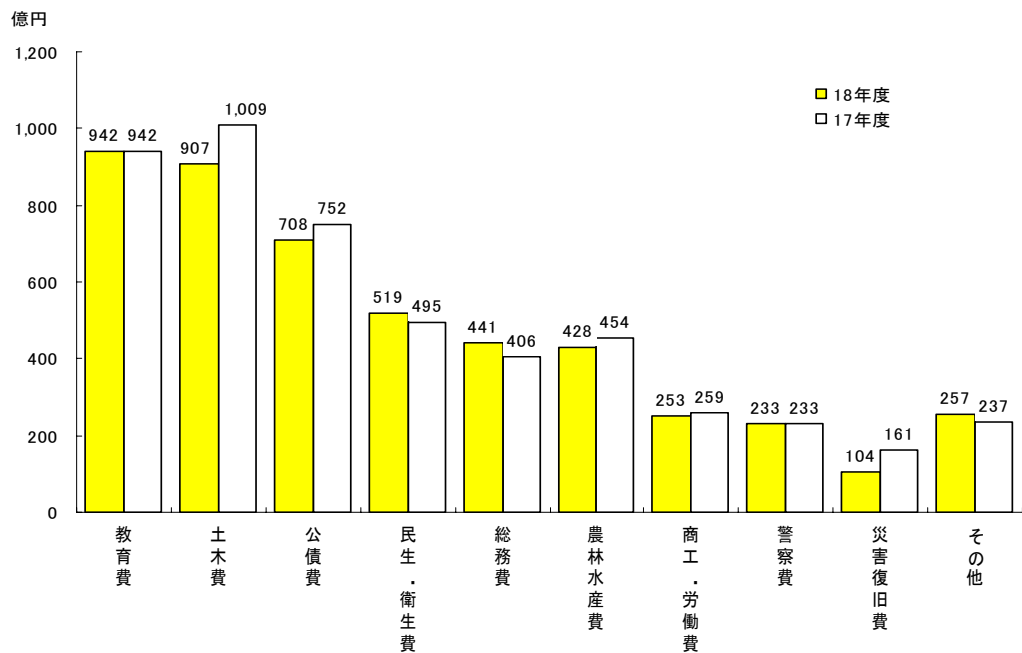
(単位 千円・%)

年度 区分 款別	平成18年度				平成17年度		比較	
	予算現額 (A)	決算額 (B)	(B)/(A)× 100	構成比	決算額 (C)	構成比	(B)-(C) (D)	伸率 (D)/(C)×100
1 議会費	1,833,754	1,820,680	99.3	0.4	1,068,615	0.2	752,065	70.4
2 総務費	45,416,491	44,066,519	97.0	9.2	40,592,636	8.2	3,473,883	8.6
3 民生費	33,043,584	32,484,826	98.3	6.8	29,703,506	6.0	2,781,320	9.4
4 衛生費	19,695,190	19,415,767	98.6	4.0	19,814,212	4.0	△ 398,445	△ 2.0
5 労働費	1,183,832	1,161,769	98.1	0.2	1,416,219	0.3	△ 254,450	△ 18.0
6 農林水産費	46,278,969	42,766,136	92.4	8.9	45,404,257	9.2	△ 2,638,121	△ 5.8
7 商工費	26,699,776	24,133,694	90.4	5.0	24,501,436	4.9	△ 367,742	△ 1.5
8 土木費	115,477,665	90,662,323	78.5	18.9	100,859,886	20.4	△ 10,197,563	△ 10.1
9 警察費	23,331,327	23,251,009	99.7	4.9	23,318,533	4.7	△ 67,524	△ 0.3
10 教育費	94,800,602	94,236,486	99.4	19.7	94,158,768	19.0	77,718	0.1
11 災害復旧費	13,847,062	10,372,657	74.9	2.2	16,136,097	3.3	△ 5,763,440	△ 35.7
12 公債費	71,136,292	70,848,191	99.6	14.8	75,249,431	15.2	△ 4,401,240	△ 5.8
13 諸支出金	24,127,220	23,954,187	99.3	5.0	22,565,918	4.6	1,388,269	6.2
14 予備費	86,167							
歳出合計	516,957,931	479,174,244	92.7	100.0	494,789,514	100.0	△ 15,615,270	△ 3.2

平成18年度一般会計歳出決算(目的別)構成比



平成18年度・平成17年度一般会計歳出決算(目的別)比較



イ 性質別決算

歳出決算額を性質別に分類した構成比は人件費、扶助費および公債費のいわゆる義務的経費が 42.4 パーセント（前年度 41.7 パーセント）で前年度より 0.7 ポイント高くなっています。

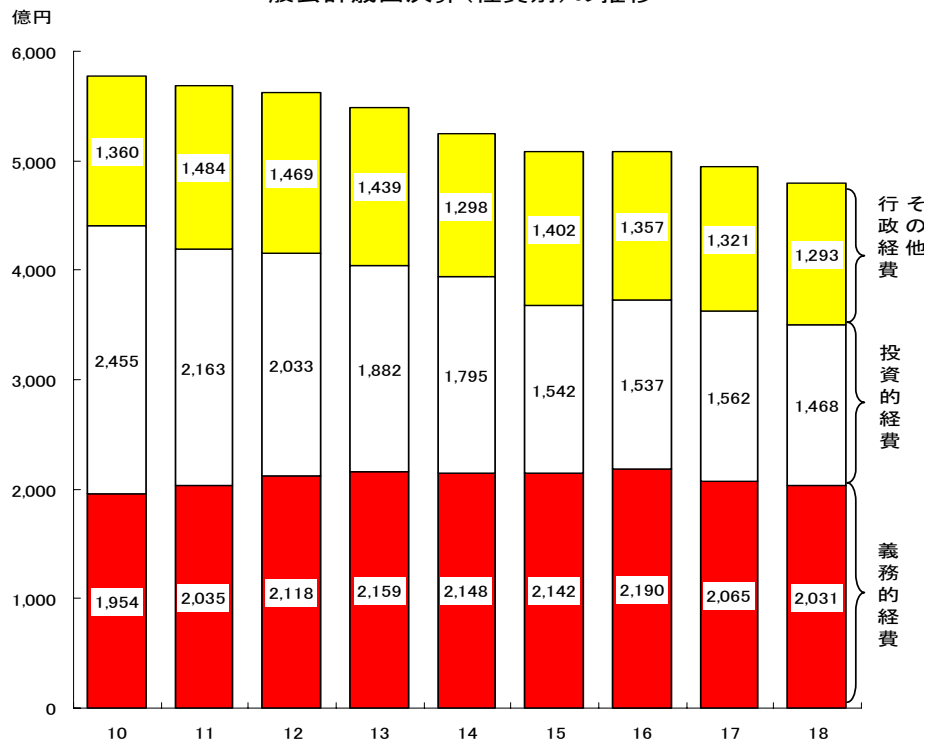
また、投資的経費の構成比は、30.5 パーセント（前年度 31.6 パーセント）で前年度より 1.1 ポイント低くなっています。

平成18年度一般会計決算（性質別）の状況

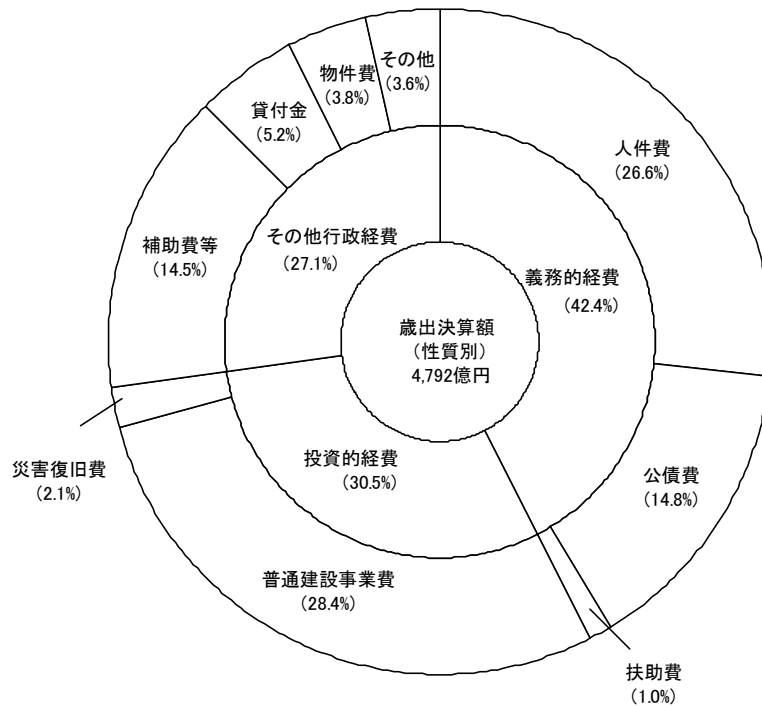
（単位 千円・％）

性質別	年度 区分	平成18年度		平成17年度		比較	
		決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A)-(B) (C)	伸率 (C)/(B)×100
義務的 経費	1 人件費	127,262,902	26.6	125,781,763	25.4	1,481,139	1.2
	2 扶助費	4,952,580	1.0	5,472,817	1.1	△ 520,237	△ 9.5
	3 公債費	70,844,155	14.8	75,244,659	15.2	△ 4,400,504	△ 5.8
	小計（1～3）	203,059,637	42.4	206,499,239	41.7	△ 3,439,602	△ 1.7
投資的 経費	4 普通建設事業費	136,361,577	28.4	139,990,022	28.3	△ 3,628,445	△ 2.6
	補助事業費	71,631,591	14.9	84,088,637	17.0	△ 12,457,046	△ 14.8
	単独事業費	53,029,264	11.1	45,440,197	9.2	7,589,067	16.7
	国直轄事業負担金	11,126,105	2.3	10,017,621	2.0	1,108,484	11.1
	受託事業費	574,617	0.1	443,567	0.1	131,050	29.5
	5 災害復旧費	10,421,734	2.1	16,208,104	3.3	△ 5,786,370	△ 35.7
	補助事業費	9,798,292	2.0	15,457,050	3.1	△ 5,658,758	△ 36.6
	単独事業費	623,442	0.1	712,621	0.2	△ 89,179	△ 12.5
	国直轄事業負担金	0	0.0	38,433	0.0	△ 38,433	△ 100.0
	小計（4～5）	146,783,311	30.5	156,198,126	31.6	△ 9,414,815	△ 6.0
その他 行政 経費	6 物件費	18,093,210	3.8	18,906,871	3.8	△ 813,661	△ 4.3
	7 維持補修費	2,141,245	0.5	2,444,952	0.5	△ 303,707	△ 12.4
	8 補助費等	69,412,221	14.5	67,373,611	13.6	2,038,610	3.0
	9 積立金	9,269,556	1.9	10,076,356	2.0	△ 806,800	△ 8.0
	10 投資および出資金	106,000	0.0	54,764	0.0	51,236	93.6
	11 貸付金	24,723,589	5.2	26,512,021	5.4	△ 1,788,432	△ 6.7
	12 繰出金	5,585,475	1.2	6,723,574	1.4	△ 1,138,099	△ 16.9
	小計（6～12）	129,331,296	27.1	132,092,149	26.7	△ 2,760,853	△ 2.1
合計		479,174,244	100.0	494,789,514	100.0	△ 15,615,270	△ 3.2

一般会計歳出決算(性質別)の推移

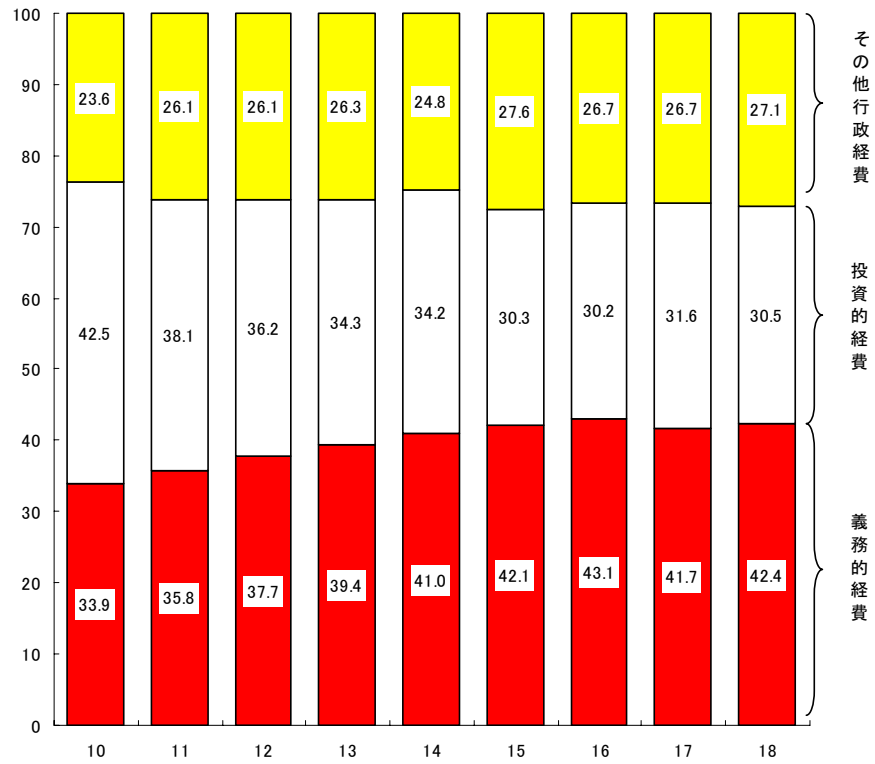


平成18年度一般会計歳出決算
(性質別)構成比



一般会計歳出決算(性質別)の構成比の推移

(%)



２ 特別会計

平成１８年度の特別会計決算額は、１３特別会計で、歳入総額が２０３億７,０１８万円、歳出総額が１７７億４,９８０万円となっており、その差引額２６億２,０３８万円を平成１９年度に繰り越しました。

また、予算額に対する収入割合は９４.８パーセント、支出割合は８２.６パーセントとなっています。

平成18年度特別会計決算の状況

(単位 千円・％)

会計名	年度 区分	平成18年度				平成17年度	比較
		予算額	収入額	支出額 (A)	剰余金	支出額 (B)	((A)-(B))/(B) ×100
用品等集中管理事業		270,323	307,890	251,197	56,693	248,031	1.3
災害救助基金		8,273	8,272	8,272	0	37,566	△ 78.0
母子寡婦福祉資金貸付金		196,907	204,512	43,330	161,182	55,427	△ 21.8
中小企業支援資金貸付金		4,378,509	4,238,321	3,145,798	1,092,523	2,985,302	5.4
農業改良資金貸付金		188,586	188,962	104,796	84,166	34,909	200.2
沿岸漁業改善資金貸付金		270,518	270,457	27,140	243,317	35,669	△ 23.9
林業改善資金貸付金		85,073	84,330	25,920	58,410	6,710	286.3
県有林事業		99,549	99,552	99,544	8	91,929	8.3
用地先行取得事業		2,001,736	2,001,735	2,001,735	0	2,919,336	△ 31.4
駐車場整備事業		395,570	395,569	395,569	0	496,280	△ 20.3
港湾整備事業		3,790,143	3,420,140	3,420,140	0	2,918,759	17.2
下水道事業		3,889,889	3,536,152	3,009,610	526,542	3,175,026	△ 5.2
証紙		5,901,426	5,614,283	5,216,749	397,534	5,399,006	△ 3.4
合計		21,476,502	20,370,175	17,749,800	2,620,375	18,403,950	△ 3.6